

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 18 年 1 月 5 日 (2006.1.5)

【公表番号】特表 2004-529395 (P2004-529395A)

【公表日】平成 16 年 9 月 24 日 (2004.9.24)

【年通号数】公開・登録公報 2004-037

【出願番号】特願 2003-504161 (P2003-504161)

【国際特許分類】

G 0 3 C 1/675 (2006.01)

【F I】

G 0 3 C 1/675 B

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 5 月 18 日 (2005.5.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

a) 潜酸、

b) 発色剤および

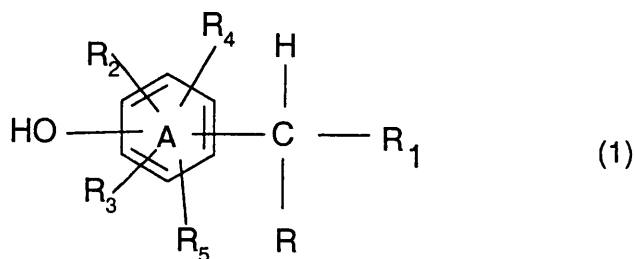
c) 任意にさらなる成分

を含有するポリマー材料を UV 光で照射することを特徴とする、ポリマー材料の着色方法。

【請求項 2】

潜酸が、式 (1)

【化 1】



〔式中、環 A は、1 以上のヘテロ原子を含むか、および / またはアネレート環を含むことができる、

R₁ は、水素、アルキル、アルケニル、アリアルであり、

R₂、R₃、R₄ および R₅ は、互いに独立に、水素原子または官能性置換基であり、そして R は、C₁ ~ C₆ アルキル、- Z₁ - Q₁ または - Z₂ - Q₂ を表し、

{ 式中、Z₁ は、単結合、S、NH または O であり、そして Q₁ は、環系中に少なくとも 2 個の炭素原子を有し、C、S、O および N から選択される 5 ~ 9 個の環原子を有するヘテロ環系であり、

好ましくは Q₁ は、モルホリン、C₁ ~ C₄ アルキルまたはヒドロキシで 1 ~ 3 回置換されていてもよいピリジン、メルカプトベンゾオキサゾール、メルカプトベンゾチアゾールを表し、また

式中、 Z_2 は、 $C_1 \sim C_4$ アルキルまたは Q_3 で置換可能な $C_1 \sim C_4$ アルキレンを表し（ここで Q_3 は、 $C_1 \sim C_4$ アルキル、ヒドロキシ、 $C_5 \sim C_8$ シクロアルキルおよび／または環系中に少なくとも2個の炭素原子を有し、C、S、OおよびNから選択される5～9個の環原子を有するヘテロ環系で1～3回置換可能なフェニルを表す）、そして

Q_2 は、 $C_1 \sim C_4$ アルキル、ヒドロキシ、 $C_5 \sim C_8$ シクロアルキルおよび／または環系中に少なくとも2個の炭素原子を有し、C、S、OおよびNから選択される5～9個の環原子を有するヘテロ環系で1～3回置換可能なフェニルを表す}

ただし、Rに対して 位の炭素原子の水素原子は、照射により分離可能である]
で示されるものである、請求項1記載の方法。

【請求項3】

発色剤が、トリフェニルメタン、ラクトン、ベンゾオキサジン、スピロピランまたは好ましくはフルオランもしくはフタリドである、請求項1または2記載の方法。

【請求項4】

ポリマー材料が、0.001～10重量%、最も好ましくは0.01～5重量%の潜酸を含有する、請求項1～3のいずれか一項記載の方法。

【請求項5】

ポリマー材料が、発色剤を、ポリマー材料の全重量に対して、0.001～10重量%、好ましくは0.01～5重量%含有する、請求項1～4のいずれか一項記載の方法。

【請求項6】

ポリマー材料を、285～400nmのUV光を用いるUVレーザーで照射する、請求項1～5のいずれか一項記載の方法。